

2015年12月7日 発行
平福地域づくり協議会
<http://hirafuku.net/>

ひらふく秋祭り

地域づくりセンターだより
No.26

平福 素盞鳴神社

10月11日(日) 井上雅彦文

今年の当番町は北地区で二年に一度の大役である獅子舞を担当しました。9月中旬より毎週5日の練習にベテランから新人まで総勢20名(大人13、高校生2、中学生1、小学生4)で舞いや笛の練習に励みました。

祭り当日は朝7時より獅子舞を奉納し出発、北新町から南新町まで鼻高を先頭に獅子、神輿、お道具、屋台などが町内を練り歩きました。中でも各家々での獅子による神祓いは、「大変だったけどやりきった時の達成感が味わえた」と若者からの感想もあり、今後も楽しみであると喜んでいます。

午後は4時からお旅所において浦安の舞、獅子舞の奉納、緊張しながらも高校生、中学生、小学生の堂々と舞う姿に惜しみない拍手が自信に繋がったと確信しています。

反省会では、練習は大変だったけど成果が出て良い祭りになつた、古くからの伝統文化を守っていかなければ、など意見が出され盛り上がり、また地域のみなさまのご支援ご協力を受けながら、大役を終えました。



五穀豊穣と子孫繁栄を祈願し行われた恒例の秋祭り。当日は朝からさわやかな青空が広がり、絶好のお祭り日和となりました。
午後1時30分から祭典が始まり、境内では秋祭りの最大の神事である子供たちによる奉納相撲が執り行われました。ちびっ子力士たちは、御神前に整列し少し神妙な面持ちで御祓いを受けたあと、みんな元気いっぱい相撲を取ってくれました。子供の数がたいへん少なくなっている昨今ですが、地元の子供たちだけでなく、氏子の親戚や友人・知人の子供たちも、毎年のように参加して熱戦を繰り広げてくれます。
鎮守の社に、子供たちの元気な声が心地よく響く、すがすがしい秋の一日本となりました。

延吉 神垣神社

10月4日(日) 山根竜次文

かみがき



庵 吾勝速日神社

10月11日(日) 平田琢也文

心配された天気も回復し、「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声に合わせ地区内を神輿が練り歩きました。今回は、傷みのひどかった神輿を約30年ぶりに総修理してこの日を迎えました。修理を手配した担当者曰く、「これまで皆さんが大切にしてこられた神輿をどうしても修理したかった」「限られた予算の中で修理を請け負つてもらえる業者が見つからず本当に困った」とのこと。

今回の依頼に応えて修理を担当されたのは、たつの市揖保川町在住の漆塗り職人の岡田道明さんです。岡田さんは漆塗りの技術をもとに伝統工芸・寺院・仏壇の修復を手掛けられ、姫路城の修復や、幻の書写塗を現代によみがえらせた名工です。岡田さんは「神官の安藤さんから神輿修理の話を聞き、そして庵地区の皆さんの神輿修理の熱意に共感して、採算度外視で請け負いました」と引き受けた経緯を述べられました。

また、神輿修復に合わせて半纏を新調し、祭を華やかに盛り上げました。この半纏の製作においても「後世に良い物を残したい」との思いから、伝統の手染めにこだわり、姫路市の黒岩染工場にお願いしたこと。
お披露目を迎える、地域を練り歩く神輿を前に住民は、深い漆黒の地に金メッキを施した金具が輝き、美しく仕上がっている」と話していました。





お月見会

9月25日(金) 教岸寺

守本房子 文

空き家も増え寂しくなっていく地域の中で、少しでも楽しいふれあいの時間が持てればと、同じ思いの仲間が集まって早8年目に入りました。いつも応援・ご協力に感謝しております。

懐かしい季節の飾り物や手作りの作品展等、いろいろ皆さんに楽しく見ていただけるよう頑張っています。また、この度の「お月見会」には天候の危ぶまれる中多くの方がお出で下さり、琴・扇舞・そして一服のお茶に感動のひと時を過ごしていただきた事と、スタッフ一同心から喜んでおります。

私たちの活動にも春から若い二人の仲間が増え、また地域づくり協議会のご協力もいただき、ますます平福が元気に、そして地域の方や来訪される人々に、ほっと出来るような場所を提供出来るよう、頑張ります。

いとっています。



延吉 盆踊り大会

8月9日(日)

山根竜次 文

毎年恒例の延吉盆踊り、今年は準備作業の直前に降り出した激しい雷雨のため、屋内での開催となりました。昨年は台風のため中止を余儀なくされたこともあり、今年こそはなんとか開催したいという思いで準備をすすめました。

金魚すくいやヨーヨー釣りなどの出店も、玄関ホールや軒下など場所が狭いながらもなんとか設営することができました。また、郷土を考える会の有志による焼きそばも出店していただき、大いに盛り上りました。

延吉クラブ屋内での踊りということで、多少窮屈ではありましたが、太鼓やお囃子、そして踊り手がらの輪となり、例年とはまたひと味ちがった、なごやかな雰囲気の盆踊りとなりました。例年通りたくさんの方に来ていただき、踊っていただきました。



平福 納涼大会

8月14日(金)

中野直樹 文

花火を間近で見学できる事もあり、近年は地元の皆さんに加えて近隣地区からの参加者も多く、今年は約八百人の来場者で賑わいました。

会場の準備、段取りから人員の確保まで、自治会を中心とする実行委員会に

各種団体(平福商工会、郷土を考える会、消防団、ほつと、ぐるーぶふくちゃん)も加わり力を合わせて盛大に開催することができました。それぞれの団体がこれまでの活動内容と経験を持ち味に発想と工夫を凝らした催し物で納涼祭にご協力頂きました。

一つのイベントを行う事毎に多くの課題も生まれてきます。所帯に応じた無理のない方法も今後の検討課題の一つかと思ひます。が、地元町民が共有共感を持ち強い信念と一体感があれば何事も乗り越えられると思います。これはイベントだけではなく今後の平福を担う事、これにもつながる物だと思います。